

大庄屋 三木家住宅

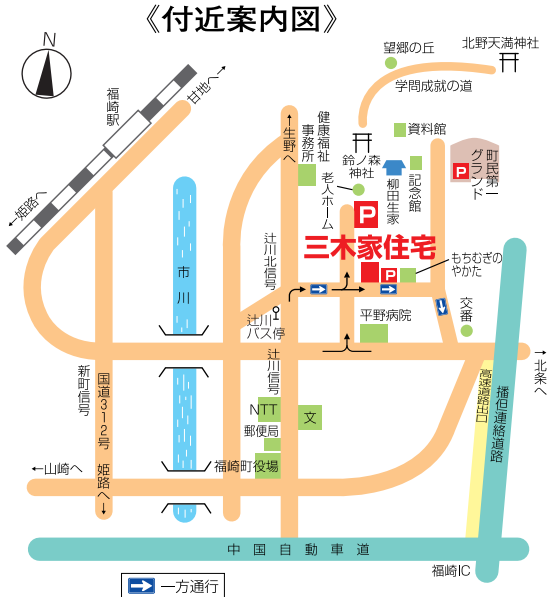
兵庫県指定重要有形文化財



写真 桑原英文

Village Representative Mikiki Residence
(Cultural property designated by Hyogo)

交通アクセス



主屋利用案内

- 公開時間／9:00～16:30 (入館は16:00まで)
- 公開日／土曜日、日曜日、祝日
(ただし、12月28日～1月4日を除く)
秋季公開日：11月1日～11月30日
(ただし、月曜日・祝日の翌日は休館)
- 入館料／無料
- 交通／JR：播但線で福崎駅下車、タクシー約10分
お車：播但連絡道路・中国自動車道で福崎ICから約5分、または国道312号線を利用

三木家ゆかりの資料



諸御用日記
文政6年(1823)
6代当主・三木通明の大庄屋職務日記。



天秤
享和元年(1801)



三木家住宅

〒679-2204 兵庫県神崎郡福崎町西田原1106 TEL 0790-23-0033
〔公開日以外は、福崎町教育委員会 社会教育課 TEL 0790-22-0560〕

三木家の歴史

三木家は英賀城主の子孫とされ、のちに飾磨(現姫路市)で飾磨津屋と称する酒屋を営んでいましたが、明暦元年(1655)、姫路藩主の新田開発の呼びかけに応じ、初代利通が辻川(現福崎町西田原)へ移り住んだと伝えます。

3代善政から8代通済まで、江戸時代を通じ、代々姫路藩の大庄屋を務め、地域の発展に大きく貢献しました。

また、歴代の当主は学芸に深い関心を持ち、三木家には好家の家風が育まれました。なかでも5代通庸・6代通明・7代通深は、京都・大坂・江戸で学問を修め、知識人と交流を深めるなかで、地域文化の担い手としても中心的役割を果たしました。

8代通済の時代に明治維新を迎え、明治4年(1871)に播但一揆の襲撃を受け、明治7年には生野鉦山寮馬車道(銀の馬車道)建設工事による表門・南土塀の建て替えを行っています。

三木家と柳田國男

日本民俗学の父・柳田國男は、明治8年(1875)、松岡家の6男として辻川に生まれました。

三木家と松岡家は、代々学問的交流があり、國男は11歳のとき、1年間三木家に預けられました。ここで國男は歴代の当主が収集した大量の書物と出会い、この読書体験が後年、日本民俗学を生む基礎となりました。9代拙二と國男は2歳違いであり、竹馬の友として生涯にわたり親交を深めました。

同家の裏手にいまでも残っている土蔵風の建物の二階八畳には、多くの蔵書があった。(中略)いろいろな種類を含む蔵書で(中略)読み放題に読んだのだが、私の雑学風の基礎はこの一年ばかりの間に形造られたように思う。(柳田國男『故郷七十年(幼時の読書)』)



柳田國男(左)と三木拙二(右) 個人蔵

三木家の屋敷地は現在1861.18㎡（約563坪）で、敷地内には主屋（表座敷）、副屋、離れ、内蔵、米蔵、酒蔵（酒造蔵）、角蔵、厩、表門が現存し、周囲は土塀で囲まれています。これら9棟の建物すべてが、昭和47年に兵庫県重要有形文化財に指定されました。

主屋の建築年代は明らかではありませんでしたが、平成22年度から実施した保存修理工事に伴う文化財調査で、2階壁板から墨書が発見され、宝永2年（1705）に建てられたことが判明しました。部屋は表4間、裏4間の8室に分かれ、一部に2階を設けます。建築当初は表西側の2室はなく、元文2年（1737）に増築されました。

副屋・離れは安永2年（1773）の増築で、離れは床の間まわりに数寄屋風の意匠を取り入れています。

三木家住宅は建築当時の姿をよく残した大庄屋遺構として、建築学的に貴重であると同時に、近代においては、民俗学者・柳田國男、生野鉦山寮馬車道（銀の馬車道）との関わりも深く、地域を代表する文化遺産です。現在、主屋部分の保存修理工事が終わり、部分公開しています。



宝永二乙酉歳弥生御棟上
三木氏吉忠成

主屋の建築年代を示す墨書（赤外線撮影）

1 主屋（表座敷）

建築年代：宝永2年（1705）

構造及び形式：桁行11間、梁間4間、つし2階建（角屋平屋）、入母屋造、本瓦葺、付 玄関脇別棟湯殿便所、西別棟湯殿便所、内蔵南湯殿

2 副屋

建築年代：安永2年（1773）

構造及び形式：桁行5間、梁間2.5間、2階建、南切妻、本瓦葺

3 離れ

建築年代：安永2年（1773）

構造及び形式：桁行6間、梁間4.5間、2階建、入母屋造、本瓦葺

4 内蔵

建築年代：元禄10年（1697）

構造及び形式：土蔵造、2階建、切妻造、本瓦葺

5 米蔵

建築年代：明治前期

構造及び形式：土蔵造、2階建、切妻造、本瓦葺

6 酒蔵（酒造蔵）

建築年代：正徳3年（1713）

構造及び形式：土蔵造、2階建、切妻造、本瓦葺、付 女中部屋

7 角蔵

建築年代：江戸後期

構造及び形式：土蔵造、2階建（一部平屋）、切妻造、本瓦葺

8 厩【解体中】

建築年代：江戸後期

構造及び形式：2階建、南入母屋、北切妻造、本瓦葺

9 表門

建築年代：

明治7年（1874）

構造及び形式：切妻造、本瓦葺、付塀



保存修理工事前の三木家住宅

■ 建物配置図 ■



主屋部分の1階を公開